

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

令和元年9月号

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」
令和元年9月1日(第173号)



ゴッホの「ひまわり」の模写(?)それぞれ力作です。



夏の旅
撮影 齋藤 毅

我孫子のあけぼの山公園のひまわり畑



青森県五所川原市の立佞武多(たちねぶた)の「かぐや」



いすみ鉄道の西大原駅付近の稲刈り直前の田んぼの様子



北海道の富良野の近くの布部(ぬのべ)

ある日のピアサポート（Bサポーターより）

8月〇日…Aさん宅に約束の時間に何うが不在。携帯電話も繋がらず。

8月◎日…スタッフより「Aさんから昨夜連絡があり『テクノロジー犯罪が原因で家に居られなかった』そうです」との話がありました。Aさんの希望もあり急遽、今日のピアサポートとなりました。

昨日のこともあり、まず主にスタッフがAさんと話しました。その間、自分は、Aさんの表情や言葉、仕草をうかがいながら、時々相槌を打つ程度にして、自分から話すのは控えていました。声をかけるタイミングは大切だと思いました。Aさんの話を聞いて、「寝つきが悪く、朝、目覚めても眠気が強くてつらいので、生活のリズムが予定どおりに過ごせない」ことがよく伝わってきました。スタッフが「土曜日の午前中に行っている老人ホームのサービスでのボランティアは行けてますか」とたずねると、「行けてます。朝、寝過ごして行かないで穴を開けてしまうと悪いので、夜通し寝ずに起きています」と言ったので、責任感が強いことに驚きました。さらに、スタッフが「訪問看護師さんに相談してますか」と聞くと「寝つきが悪いことは言っています。洗っていない食器を洗ってもらって助かっています」とのことでした。

後半は、将棋をAさんと自分がやりましたが、いつもどおり、楽しそうで、穏やかで、ほっとしました。

追記：昨日のテクノロジー云々についての経過もお聞きしましたが、難しさを感じました。

けやきの中でも、将棋はブームです。



川
柳

歌聞けよお前ら蜘蛛か散っていく

カラオケはフリードリンクそれで来る

シャワー後の第三のビール命綱

夏休みありがたくない僕がいる

結婚が夢のままでは終われない

ペアルックほほえましいねNとM

ありがとう母にベッドをプレゼント

採りたてのひなたの匂い塩トマト

ながれ星バレーボールの新チーム

流尾さんあなたはボクの一歩星